

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 5 月 26 日	
秋田市長 沼谷 純 殿	
提出者	
住 所 秋田市外旭川字三後田266番地1	
氏 名 株式会社シブヤ建設工業	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
代表取締役 渋谷 守寿	
電話番号 018-868-0655	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社シブヤ建設工業
事業場の所在地	秋田市外旭川字三後田266番地1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	前年度完成工事高 2,143,020千円
③ 従業員数	20名(令和7年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・コンクリート、アスコンその他がれき類、金属、木くず、 →破砕(再生処理業者へ委託) ・ガラス・陶磁器くず、廃プラ、紙くず、繊維くず、石膏ボード、 →破砕・埋立(最終処分業者へ委託) ・混載→選別後再生可能な資源は再資源化(再生処理業者へ委託) ※その他においても適切な再生処理業者及び最終処分業者へ委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

現場代理人→本社総務部→統括責任者（代表取締役 渋谷 守寿）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	同上 t	t
	（これまでに実施した取組） ・再生できるものを分別して再利用する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	同上 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・現状に努める		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現場での分別に努める（コンクリート、アスコン、その他がれき類、金属、ガラス・陶磁器くず、硬質プラスチック、発砲スチロール、紙くず、繊維くず、石膏ボード、安定型混合、管理型混合、汚泥、石綿含有産廃、水銀使用製品）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状に努める

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	同上 t	t
	(これまでに実施した取組) ・自ら再生利用はしない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	同上 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・自ら処理処分又は海洋投入処分はしない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	同上 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	同上 t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	同上 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	同上 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	同上 t	t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に基づき、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施 ・電子マニフェストを導入し、処理の適正を図る		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	同上 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	同上 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	同上 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	同上 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	同上 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託基準に基づき、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約の締結 ・できる限り、再生処理業者へ委託するとともに優良認定処理業者へ委託する ・電子マニフェストの推進		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

令和7年度 産業廃棄物処理計画

株式会社 シブヤ建設工業

産業廃棄物の種類	実績・目標	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(第2面)	自らの再生利用を行った産業廃棄物の量(第3面)	自らの熱回収を行った産業廃棄物の量	自らの中間処理により減量した産業廃棄物の量(第4面)	自らの行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項(第4面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項(第4面～5面)				
		排出量(t)	自らの再生利用を行った産業廃棄物の量	自らの熱回収を行った産業廃棄物の量	自らの中間処理により減量した産業廃棄物の量		他社への処分委託量	優良認定業者への委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量
1 コンクリートがら	実績 目標	5,771.22 5,000.00					5,771.22	705.25	5,768.05	0.17	
2 アスコンがら	実績 目標	184.50 150.00					184.50	500.00	184.50		
3 その他がれき類	実績 目標	23.51 10.00					23.51	11.11	7.00		
4 ガラス・陶磁器くず	実績 目標	70.55 50.00					70.55	3.30		1.00	
5 ガラス・陶磁器くず・石綿含有産廃	実績 目標	4.17 2.00					4.17				
6 廃プラスチック	実績 目標	26.85 20.00					26.85	3.44	1.40	6.00	
7 廃プラ・金属くず	実績 目標	54.89 30.00					54.89	3.00	54.89	5.00	
8 廃プラ・石綿含有産廃(安定型)	実績 目標	2.70 2.00					30.00		30.00		
9 金属くず	実績 目標	98.69 70.00					2.70				
10 金属くず・木くず	実績 目標	0.60 0.50					2.00				
11 紙くず	実績 目標	0.90 0.50					98.69		98.69	2.26	
12 水銀使用製品(廃蛍光灯)	実績 目標	0.13 0.10					70.00	0.13	70.00	2.00	
13 汚泥・金属(廃乾電池)	実績 目標	0.02 0.02					0.60		0.60		
14 混合(安定型)	実績 目標	0.78 0.50					0.50				
15 混合(管理型)	実績 目標	84.20 50.00					0.90				
16 木くず	実績 目標	151.68 100.00					0.50				
17 繊維くず	実績 目標	1.55 1.00					84.20	62.36		21.84	
18 廃石膏ボード	実績 目標	42.33 20.00					50.00	40.00		10.00	
合計	実績	6,519.27	0.00	0.00	0.00	0.00	151.68	2.20	143.08		
	目標	5,506.62	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00		100.00		
	実績						1.55				
	目標						1.00				
	実績						42.33		18.93	2.43	
	目標						20.00		10.00		
	実績						6,519.27	787.79	6,278.05	33.72	0.00
	目標						5,506.62	553.00	5,365.00	17.00	0.00